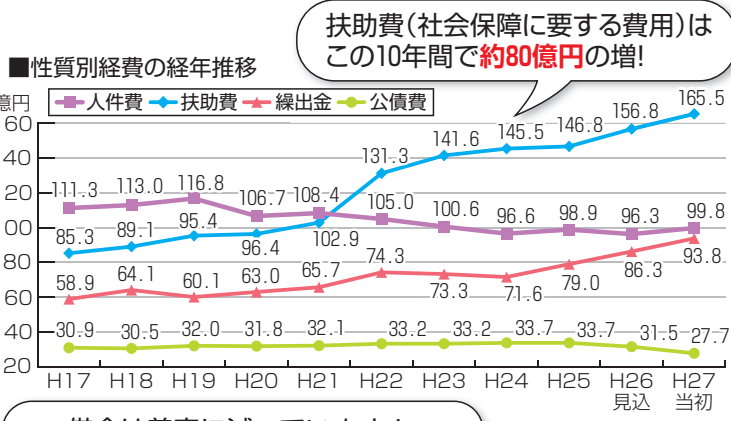


# 日野市の財政状況～現状とこれから

市税収入は増えていますが、扶助費の伸びが右肩上がり増加しており、今後も引き続き慎重な財政運営の必要があります



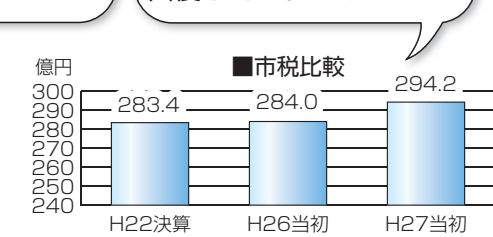
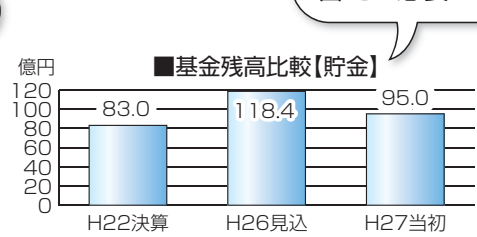
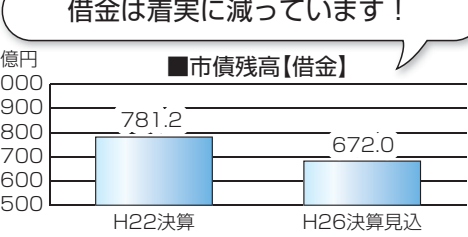
扶助費(社会保障に要する費用)はこの10年間で約80億円の増!

## 将来の世代に負担を先送りしないために…

- 1 借金の残高を継続的に減らしていく
- 2 公共施設の更新や長寿命化、災害などに備えて貯金を増やす
- 3 健康維持・増進の取り組みによる社会保障関連経費の抑制
- 4 定住化促進や地域雇用の創出による市税収入の確保

一般会計で見た貯金。もしもの時のためにも蓄えは必要!

増収見込みもリーマンショック以前の水準までは回復していません!



市民1人当たり換算すると… 1人当たり税負担 16万1,689円(3,731円増) ※( )内は前年度比増減  
1人当たり歳出額 32万7,918円(2万471円増)

<b>民生費</b> 高齢者や障害者などに対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用 15万7,201円 (4,319円増)	<b>衛生費</b> ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用 3万123円 (1,090円増)	<b>土木費</b> 道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用 3万817円 (2,846円増)	<b>消防費</b> 消防活動、災害対策などの費用 1万3,698円 (▲150円減)	<b>貯金(基金残高)</b> 5万2,186円 (▲1万3,677円減)  <b>借金(市債残高)</b> 17万843円 (911円増)
<b>教育費</b> 小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動、スポーツ活動などの費用 4万3,820円 (1万321円増)	<b>総務費</b> 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用 3万467円 (3,941円増)	<b>公債費</b> 市債(市の借り入れたお金)の返済のための費用 1万5,231円 (▲2,423円減)	<b>その他</b> 市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用 6,560円 (526円増)	

※歳出額は一般会計のもの  
※市民一人当たりの金額は平成27年4月1日現在の人口181,936人(外国人を含む)で算出

## 平成26年度下半期財政状況

(平成27年3月31日現在)

■市有財産		■市債の状況 (単位: 億円)				
土地	建物	会計名	平成25年度末残高	平成26年度借入金	平成26年度元金償還額	平成26年度末残高
169万㎡	35万㎡	一般会計	307.4	25.8	27.7	305.5
公共施設建設基金	16億6,618万円	下水道事業特別会計	269.5	7.0	20.9	255.6
職員退職手当基金	12億6,413万円	市立病院事業会計	81.8	0.8	4.8	77.8
財政調整基金	50億5,210万円	土地区画整理事業特別会計	36.3	0.0	3.1	33.2
環境緑化基金	6億7,636万円	合計	695.0	33.6	56.5	672.0
平和事業基金	1億円	※金額は各欄ごとに1千万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります				
バリアフリー事業推進基金	8,766万円	■平成26年度下半期各会計別予算執行状況 (単位: 億円)				
土地区画整理事業基金	23億5,971万円	一般会計	601.6	569.1	552.0	
介護給付費準備基金	7億3,414万円	国民健康保険	179.9	167.3	161.8	
市民体育施設整備基金	4億8,890万円	土地区画整理事業	36.5	26.1	5.3	
学校施設整備基金	5億5,387万円	下水道事業	50.6	42.0	44.8	
減債基金	2億6,704万円	介護保険	117.3	107.0	105.5	
新選組関連資料収集基金	1,693万円	後期高齢者医療	34.9	34.6	34.4	
ごみ処理施設整備基金	16億1,635万円	市立病院事業(収入)	88.8	69.3		
福祉あんしん基金	5,077万円	市立病院事業(支出)	98.2		80.3	
合計	149億3,414万円					

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

# 平成27年度の主な取り組み

※印は平成26年度末に決定した国の緊急経済対策に対応するため、平成26年度から繰り越した事業になります。

<b>I 参画と協働のまち</b> 15億5,064万円 ●まち・ひと・しごと創生法に基づく「日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定※ ●コミュニティづくりの支援強化(多様な団体の参加による地域懇談会や自治会活動インセンティブ補助金の交付など) ●第三次男女平等行動計画の策定や女性の活躍支援、社会進出、登用の推進 ●平成27年国勢調査の実施 ●公共施設等総合管理計画の策定 ●戦後70年平和事業の実施など	<b>IV 日野人・日野文化を育てるまち</b> 9,140万円 ●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み ●「Hi know! (ひのう)【団体活動紹介サイト】」を活用した生涯学習ネットワークの構築※ ●図書館開設50周年記念事業の実施など
<b>II 子どもが輝くまち</b> 19億5,294万円 ●スーパーひのっち「なつひの」(夏休み期間のひのっち)の4校実施 ●産前・産後の母子早期支援(新生児・妊産婦訪問指導や産前・産後ケア事業など) ●子育て情報サイトの立ち上げ ●地域行政ポイント付与による子育て支援(6カ月健診でのポイント付与) ●保育園の待機児童解消に向けた取り組み ●安全で安心な教育環境整備(五小の増築や二中北校舎の改築、小中学校屋内運動場の天井等落下防止対策による耐震化)など	<b>V 自然と調和した環境に優しいまち</b> 13億5,543万円 ●広域化による可燃ごみ処理の推進 ●第3次ごみゼロプランの策定 ●CO <sub>2</sub> 削減の取り組みの展開と生物多様性地域戦略の策定 ●セツ塚公園の整備など
<b>III 健やかでともに支えあうまち</b> 11億9,929万円 ●歩きたくなるまちづくりの推進(ウォーキングサインや健康器具の設置など)※ ●国保・医療レセプトデータの利活用(データヘルスによる疾病予防の取り組み) ●生活困窮者自立支援法に基づく支援(相談支援、住宅確保給付支援、子どもの貧困対策・学習等支援など) ●地域行政ポイントによるがん検診(セット検診)受診率の向上 ●認知症早期対応システム構築に向けた検討の実施(地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員の配置など) ●多摩平の森地区にこわーく(障害者生活・就労支援センター)の開設など	<b>VI 安全で安心して暮らせるまち</b> 6億4,090万円 ●災害用備蓄の充実など災害から命を守る防災力向上 ●街頭および小学校通学路への防犯カメラ設置 ●社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入(個人番号カードの交付やコンビニ交付サービス事業)など
<b>VII 地域の魅力を活かした活力あるまち</b> 49億3,807万円 ●まちづくりマスタープランの改訂 ●商工の活性化(企業立地奨励金制度の導入や(仮称)多摩平の森仕事創出拠点づくり事業など) ●プレミアム(25%)付商品券発行、多子世帯等支援商品券交付※ ●新たな地域資源や観光資源を発掘し、市内外への魅力発信(シテイセールス)実施	

## 日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の使い道

平成27年度の地方消費税交付金の消費税率引き上げに伴う増分は、18億3,100万円になる見込みで、下記の通り全て社会保障施策に充てられます。

### ■日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の充当先

国による分類	日野市の予算による分類	事業経費	財源内訳			
			国都支出金	負担金など	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他
社会福祉※1	障害福祉費、老人福祉費※4、児童運営費、保育園費、生活保護経費	134億8,339万円	78億1,171万円	7億535万円	7億8,779万円	41億7,854万円
社会保険※2	国民健康保険事業費、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計繰出金	60億7,653万円	5億3,082万円	0	8億7,969万円	46億6,603万円
保健衛生※3	予防費、健康管理費	13億476万円	2億535万円	6,852万円	1億6,353万円	8億6,737万円
平成27年度当初予算額596億6,000万円のうち		208億6,468万円	85億4,788万円	7億7,387万円	18億3,100万円	97億1,193万円

(注) 金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

- ※1 生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害福祉など
- ※2 国民健康保険、介護保険、年金など
- ※3 医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など
- ※4 社会保険に係る介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計への繰出金を除く